

# 令和5年度大谷口おとしより相談センター 事業計画書

## 1 組織・運営体制等

○組織・運営体制における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・職員個々のケースワーク力とチームとしての総合力が不足している。	<p>・日々のミーティングにおいて三職種の専門性に基づいたスーパーバイズの機会を設けることで、チームとしての方針を決定、連携の強化・チーム力の向上を図る。</p> <p>・様々な研修へ積極的に参加、伝達研修および勉強会等を行い職員個々のスキルアップと専門性の向上を図る。また、地域の高齢者福祉関係者との合同研修の企画、開催および勉強会に積極的に参加する。</p>

### (1) 組織・運営体制

目 標	「つながる力」である地域力が高いという地域特性を活かした住民主体の地域包括ケアシステムの構築を多職種協働で取り組む。
<b>重点事業</b> 実現可能な範囲であれば複数チェック可 ※（ ）内は具体的な方針を簡潔に記載	<div> <input type="checkbox"/> 総合相談支援事業 ( )             <input type="checkbox"/> 権利擁護事業 ( )             <input checked="" type="checkbox"/> 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 (地域を基盤とする包括的な支援体制づくりの推進を実施する。)             <input checked="" type="checkbox"/> 地域ケア会議の実施 (地域の強みや課題を共有し、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりの推進を実施。)             <input type="checkbox"/> 在宅医療・介護連携推進事業 ( )             <input checked="" type="checkbox"/> 生活支援体制整備事業 (介護予防に取り組む場の創出に必要な支援の呼掛け、連携を行う。)             <input type="checkbox"/> 認知症総合支援事業 ( )             <input type="checkbox"/> 介護予防・生活支援サービス事業 ( )             <input checked="" type="checkbox"/> 一般介護予防事業 (元気力チェックシートを活用した相談会を提案、実施し、介護予防に対する意識の醸成を図る。キーパーソンとなり得る住民の発掘を行う。)           </div>

○研修計画 ※個人情報保護措置の研修については必須記載※

○センターの周知計画及び夜間・早朝や休日等の緊急時における連絡体制

2

## (2) 利用者満足度の向上

### ○苦情対応体制の整備

Q. 苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。

- ☒ 記録している (⇒ 記録の管理方法：苦情内容や対応経過を記録した文書はファイルに綴込み、施錠可能な保管場所に保管し、個人データ管理責任者であるセンター長が管理している。)
- ☐ 記録していない

### ○プライバシー確保のための環境整備

- ☒ 個人情報の取り扱いについて区の契約・法人の規定などに基づき対応している。
- ☒ 相談スペースの確保を行い、相談しやすい環境を整備している。
- ☒ PC 端末の画面が関係者以外に見えないよう配置への配慮を行っている。
- ☐ その他 ( )

## 2 個別業務

### (1) 包括的支援事業

#### ① 総合相談支援事業

○総合相談支援事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・個別課題解決のためのネットワークが恒常的ネットワークに発展し、それが地域づくりへ繋がるということが意識できていない。	・本人、家族、地域のアセスメントを重視し、職員全員が共通理解のできるアセスメントツールを作成し、総合相談事例から地域生活を継続するための課題を抽出する

○地域包括支援ネットワーク構築・実態把握

会議体	開催回数（開催時期）	内容（複数チェック可）	備考
地区町会長会議 （又は地域情報連絡会）	1回（4月）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
地区別連絡会	1回（9月頃）	<input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 交流会 <input checked="" type="checkbox"/> 事例検討会 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
相談協力員連絡会	1回（6月頃）	<input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> 事例検討会 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
地区民生・児童委員協議会	毎月	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
出前講座等	1回以上（時期未定）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼 <input checked="" type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	（開催先団体名） 福祉の森サロン
	1回以上（時期未定）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼 <input checked="" type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	（開催先団体名） 老人クラブ
	1回以上（時期未定）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼 <input checked="" type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	（開催先団体名） 住民主体型通所サービス

○地域における関係機関・関係者のネットワークの管理

把握情報	<input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員 <input checked="" type="checkbox"/> その他（住民主体型通所サービス）
管理方法	<input checked="" type="checkbox"/> マップ（紙） <input type="checkbox"/> マップ（データ） <input checked="" type="checkbox"/> リスト（紙） <input type="checkbox"/> リスト（データ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
地域特性の把握内容	<p>・坂道が多い地形であり、また、交通機関の駅やバス停は高齢者の負担の少ない徒歩圏にはなく、移動手段の検討が必要となっている。</p> <p>・木造住宅の密集や狭い道路が多いことから消防困難区域も生じ、防災上の問題を抱えている。</p> <p>・町会、自治会、老人会の活動は盛んで「つながる力」である地域力は高いが住民主体の介護予防の拠点が少なく、地域資源を活用した拠点づくりが急務となっている。</p>

## ○高齢者見守り事業

	登録者の状況把握目標	把握方法	相談協力員との連携方法・時期等
ひとり暮らし高齢者 見守り対象者名簿	(新規) 100%	・訪問を行うことにより生活状況の把握を行い、また、センター事業の周知により相談窓口として認識してもらうことで今後の支援に向けた関係性の構築に努める。	5月又は、8月開催予定の事業者交流会に民生委員も交え、意見交換会を実施し、登録者及び登録者以外の高齢者の最新状況の把握と情報共有を行う。
	(新規以外) 80%	・各種訪問の機会を捉えて生活状況の把握を行い、熱中症予防の注意喚起や高齢者福祉サービス等を案内するとともに、民生委員やケアマネジャーなどと情報共有を図る。	
高齢者見守り キーホルダー	登録勧奨、普及・啓発方法		
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域イベント参加 <input checked="" type="checkbox"/> 老人クラブ・サロン等の訪問 <input checked="" type="checkbox"/> 個別訪問時の情報提供 <input type="checkbox"/> パンフレット作製・配布 <input checked="" type="checkbox"/> センター主催事業実施時における広報 <input type="checkbox"/> センターだよりの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員や関係機関との連携 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

## ② 権利擁護事業

○権利擁護事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
<p>・高齢者虐待事例や処遇困難事例への対応（ケアマネジャーなどの後方支援含む）が職員によっては、十分に担えていないことがある。</p>	<p>・高齢者虐待事例や処遇困難事例を把握した場合は、経験のある職員を含めた2人以上のセンター職員による訪問面接、迅速な事実確認・情報収集又、対応方針の検討にあたっては三職種が中心となり、多様な観点から行うことを徹底する。</p>

○権利擁護事業における実施事業等

会議名	会議種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
多職種交流・研修会	虐待防止・対応	年1回（8月頃）	主催（交流会）	虐待防止に多職種で取り組むために実施

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○包括的・継続的ケアマネジメントにおける課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・フォーマルサービス、インフォーマルサービスにかかわらず、既存の資源を有効活用し、また、様々な社会資源を個々のケースに対し適切にコーディネートする力が不足している。	・地域の主任ケアマネジャーとの協働で、アセスメント力強化を目指した研修会を開催し、個別課題から地域課題に目を向け、その解決に向けた対策が講じられるようにする。

○事業者交流会等（包括的・継続的ケアマネジメント支援における会議や研修）の開催計画

会議名	方法	開催回数（開催時期）	テーマ・内容	参加対象	備考
大谷口地区事業者交流会	交流会	年1回（5月頃）	年間の事業及び研修計画の発表、グループディスカッション（各事業の業務や現状を理解する）	主任介護支援専門員、介護支援専門員、医療職、薬剤師、介護サービス事業所、民生委員など	
	研修	年1回（8月頃）	地域全体で支援が必要な人の生活を支える体制づくりを考える	主任介護支援専門員、介護支援専門員、医療職、薬剤師、介護サービス事業所、民生委員など	

#### ④地域ケア会議の実施

○地域ケア会議の実施における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・各地域ケア会議で検討した内容から導き出された地域課題について情報共有およびその解決に向けて協議する。	・医療と介護などの専門職の他、地域住民を交えた地域交流会を開催。その中で地域課題の情報共有を行い、課題解決にむけて地域全体で何に取り組むべきか検討し、実践行動に結び付けていく。

#### ○実施する地域ケア会議

会議名	開催回数（開催時期）	テーマ	備考
ケアマネジメント支援型地域ケア個別会議（小地域ケア会議）	1回（10月頃）	認知症になっても地域で住み続けるために私たちができることは何か？	
日常生活圏域レベル地域ケア推進会議（地区ネットワーク会議）	1回（1月頃）	介護予防の拠点づくりの実現に向けて	

※地域ケア会議として位置付けられている「認知症初期集中支援チーム員会議」については、7 認知症総合支援事業で記載。

#### ⑤在宅医療・介護連携推進事業

○在宅医療・介護連携推進事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・在宅療養支援に際して医療・介護・障がいに限らず、ヤングケアラー・家庭内暴力・貧困・住宅その他様々な問題が重複して発生しているケースがある。様々な専門職と協働して、世帯全体の支援が必要となる多問題ケースに対応しなければならない。	・医療・介護・障がいなど様々な専門職を招いて顔の見える関係作りや具体的な連絡体制の構築についての課題把握・情報共有・ネットワーク構築を目的とした多職種連携の交流・研修会を行う。

○在宅医療・介護連携推進事業における実施会議等

会議名	開催回数（開催時期）	内容	備考（連携先）
多職種交流・研修会	1回（8月頃）	主催（研修会）	

⑥生活支援体制整備事業

第2層協議体との 関わり方について	・支え合い会議に毎回参加し、担当地域内の地域特性や社会資源、地域課題などの把握を行うとともに、各地域ケア会議で検討した内容から導き出された地域課題を発信し、また、情報の共有を進め、協議体メンバーと協働して地域課題の解決に向けた取り組みを進める。
第2層協議体と専門職 との連携について	・地域課題の解決に向けた取り組みを進めていくため第2層協議体への参加や協力を働きかけていく。

⑦認知症総合支援事業

○認知症総合支援事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人ミーティングの機会を持つことができていない。</li> <li>・認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けての活動が不十分である。</li> <li>・認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の構築が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人ミーティングの開催に向けて、実施しているグループに見学に行くなどして情報収集を行い、実施計画を立て、年度中に開催する。</li> <li>・地域のキャラバン・メイトと協力して認知症サポーター養成講座、声掛け訓練を企画、実施する他、図書館での出張相談会や認知症予防講演会の開催又、地域の医療機関、金融機関、あんしん協力店などを回り、顔の見える関係を構築し、相談、連携しやすいネットワークづくりを進める。</li> <li>・医療的な所見、助言を必要とするケースについては初期集中支援事業やもの忘れ相談事業に繋げ、多職種で介入する体制を整備する。</li> </ul>



○認知症総合支援事業における実施事業・会議等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
本人ミーティング	その他（備考に記載）	未定	主催（講演会）	
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座	2回以上	主催（講演会）	
認知症声掛け訓練 （又は認知症サポーター交流会）	認知症サポーターの活動支援	1回以上	主催（交流会）	
認知症初期集中チーム員会議	認知症初期集中支援事業	6回（隔月）	その他（備考に記載）	事例検討
もの忘れ相談事業	その他（備考に記載）	年3回 （8月、12月、3月）	その他（備考に記載）	相談事業
家族会「やすらぎ」	認知症家族交流会支援	毎月（担当月未定）	その他（備考に記載）	交流会の後方支援
地域にあるオレンジカフェ 2ヶ所の後方支援	認知症カフェ支援	未定	その他（備考に記載）	交流会の後方支援
図書館との連携による普及啓発	認知症予防等の講座開催	9月	その他（備考に記載）	相談窓口設置、 講座開催など

## (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

### ①介護予防・生活支援サービス事業、②一般介護予防事業

○介護予防・日常生活支援総合事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象者を把握し、元気力向上教室や住民主体型通所サービスなどに繋げ、元気高齢者を増やしていく必要がある。</li> <li>・新たな住民主体の活動の場を創出する必要がある。</li> <li>・地域にある既存団体の安定した運営支援を行う必要がある。</li> <li>・介護予防や自立支援の取組みを推進していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サポーターなどの協力を得て包括主催で元気力測定会を開催し、事業対象者の把握に努めるとともに、新たな活動の場を担ってもらえるキーパーソンを発掘する。</li> <li>・地域にある既存の団体（10の筋トレ2ヶ所、サロン10ヶ所、住民主体型通所サービス1ヶ所）へ出向き、活動状況を聴取するなど顔の見える関係、相談しやすい関係を構築する。</li> <li>・老人クラブ、サロンなど既存の団体からの依頼に基づく出前講座は引き続き行っていく他、図書館での介護予防講演会を企画、開催していく。</li> </ul>

○介護予防・日常生活支援総合事業における実施事業等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
ミニ元気力測定会（大谷口）	介護予防把握事業	1回以上	参加事業における普及啓発	介護予防サポーターと連携。他連携団体未定
所内会議	その他（備考に記載）	毎月	その他（備考に記載）	サービスB・C利用案内、職員の見学等計画
新たな住民主体の活動の場の立ち上げ支援	介護予防普及啓発事業	未定	その他（備考に記載）	キーパーソンの発掘、活動支援
介護予防の講演会	介護予防普及啓発事業	未定	主催（講演会）	図書館等で講演会
地域にある活動団体への後方支援	介護予防把握事業	未定	その他（備考に記載）	10の筋トレ、サロン、サービスCの後方支援

